



2022年度 消費者志向自主宣言 フォローアップ活動報告書

株式会社日清製粉グループ本社

2023年10月

目次

1. 日清製粉グループについて
2. 経営トップのコミットメント
3. 法令遵守／コーポレートガバナンスの強化
4. みんなの声を聴き、かついかす
5. 未来・次世代のための取組み

日清製粉グループについて

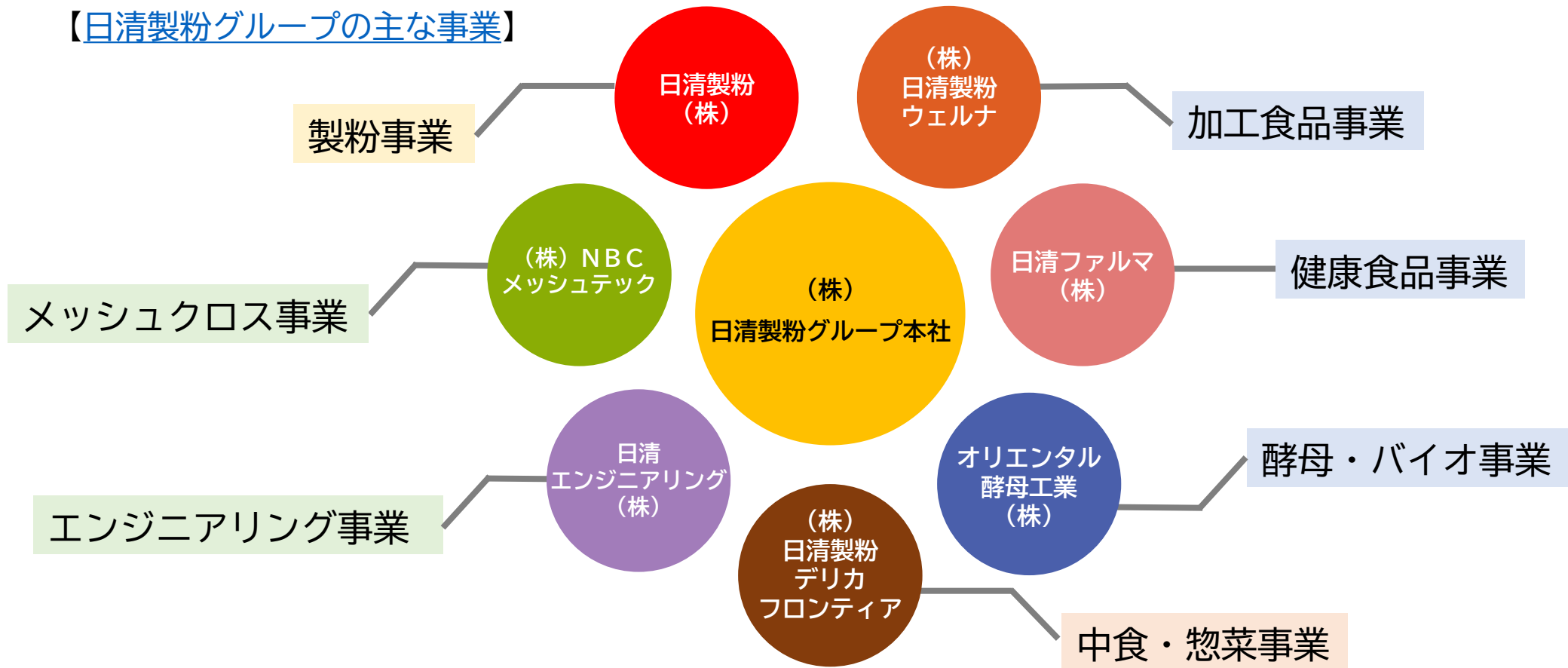
“信を万事の本と為す”を信念に創業

日清製粉グループの創業者である正田貞一郎は、
「事業はつねに社会と結ぶことを念頭に。
自分1人が儲けることを考えると事業はけっして長続きしない。
すなわち信は万事の本である(信為万事本)」
という言葉を残しています。

昨今、企業に強く求められている社会的責任や持続可能な成長に向けた思いを創業当初から掲げ、脈々と受け継いできた日清製粉グループ。
今後、グローバルな企業グループとして更なる成長を図るうえでも、すべての始まりであるこの精神が変わることはありません。

日清製粉グループについて

【日清製粉グループの主な事業】



日清製粉グループは製粉、加工食品、酵母・バイオ、健康食品、中食・惣菜、エンジニアリング、メッシュクロス等の多彩な事業を展開しています。

経営トップのコミットメント

**日清製粉グループは、健康で豊かな生活づくりへの貢献と共に、
持続可能な社会の実現を目指します。**

日清製粉グループは、小麦粉をはじめとする主要食糧の安定供給と、お客様に高品質な製品・サービスを安定的に提供する社会的使命を果たしてまいります。

また、社会にとって真に必要な企業グループであり続けるため、食品安全、内部統制システムへの取り組み、コンプライアンスの徹底、環境保全・社会貢献・人権尊重等、企業の社会的責任を果たし、「安全」・「安心」・「健康」をお届けする企業グループとして、株主、顧客、取引先、社員、社会等のすべてのステークホルダーから積極的に支持されるべく努力を重ねてまいります。

法令遵守／コーポレートガバナンスの強化

さまざまな専門監査の実施

当社グループは、健全な生産活動をするうえで、「人・製品・設備・環境」の『4つの安全』がその前提になると考えています。

当社グループの監査体制は、監査等委員による取締役の職務執行の監査や内部監査部による監査だけでなく、専門的な知見を持つ部署による様々な専門監査を行っており、これらの監査を実施することで、必要な指導・改善を行い、それをグループで横展開し、グループ全体の総合的なレベルの維持・向上を図っています。

◆専門監査の内容

設備・安全監査	設備管理や安全衛生管理、防火管理などの業務が適切に実施されていることを確認
環境監査	環境に関連した法令遵守や、省エネルギー・廃棄物の再資源化を通じた環境負荷低減の取組みを確認
品質保証監査	消費者視点に立った品質保証に基づいて製品安全が確保されていることを確認

みんなの声を聴き、かついかす（安全・安心）

原材料・製品等の安全性の評価・審査「セーフティレビュー」

採用前の新規原材料・新製品・景品等は、各事業会社でセーフティレビューという審査を行っています。専門知識を持つ担当者が集まり、法令、危害要因分析、ユニバーサルデザイン、環境配慮、表示等、幅広い項目で安全性を総合的に評価し、全評価項目で基準をクリアしなければ、新規原材料・新製品・景品として採用されません。

さらに製品上市後も、使用原料や生産工程で問題は発生していないか、製品安全や環境上の問題はないか、設計段階で求めていた品質が満たされているかなどについて確認するため、再度セーフティレビューを実施しています。



【セーフティレビュー内容の一例】

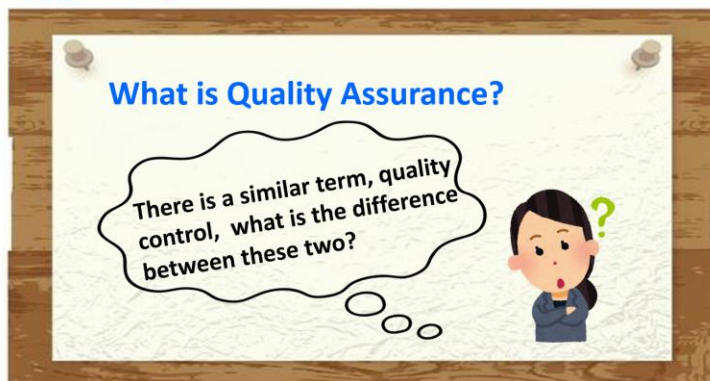
- 専門部署が集まり、それぞれの知見や過去の事故事例を基に、考慮すべきリスクに漏れがないか、洗い出されたリスクへの対応手段が妥当かなどを評価・議論
- パッケージデザインや調理品をもとに、消費者が誤認するリスクや使用時のリスクを確認

みんなの声を聴き、かついかす（安全・安心）

国内外のグループ従業員向けに品質保証研修を実施

消費者視点の品質保証と品質保証体制の継続的強化のため、品質保証研修を毎年実施しています。

2022年度は、国内外のグループ全社の研究開発・生産・営業業務に携わる従業員4,000名に品質保証研修を実施しました。また品質保証に関する動画を7か国語（英語、中国語、タイ語、ベトナム語、トルコ語、マラティ語、ネパール語）で作成し、国内外のグループの工場で勤務する外国籍の従業員の方に展開しました。



また、品質保証責任者向けの研修に全国消費者団体連絡会より講師を招き、「消費者が食品企業に求めること」について講演いただきました。

みんなの声を聴き、かついかす（消費者コミュニケーション）

お客様の声を製品の改善に反映

消費者からのご指摘については、お客様相談室で日々受け付け、社内ネットワークを利用した「CHORUS」に集約、情報共有し、社内担当部署にて指摘品の現物確認、完了案件の振り返りを行い、常に発生状況を把握しています。

迅速で誠意ある対応を漏れなく行うために、毎週関連部署の担当で「お客様の声検討会」を実施し、発生件数、指摘事項の内容、調査報告に対して消費者がご不満を感じた案件の確認等を行っています。



変更前



変更後



お客様の声を製品の改善に反映した一例として、特に妊婦の方から、リステリア菌を心配される問い合わせが続き、消費者の不安解消に応え、かつ、当社の説明責任を果たすため、ナチュラルチーズを使用した製品のパッケージ表面に「ナチュラルチーズ使用」表示を追加しました。

みんなの声を聴き、かついかす（消費者コミュニケーション）

料理教室の対面クラス再開とオンラインクラス継続

小麦粉にもっと親しんでいただき、食の楽しさを広める活動として、パン、ケーキ等を小麦粉から手作りする「[フラワー手づくり教室®](#)」を定期的に行っています。

大人向けの教室や親子教室も実施し、小麦粉メニューの作り方をお伝えすることに加えて、小麦および小麦粉に関する情報も提供し、幅広い層の消費者との双方向コミュニケーションの場となっています。



休止していた対面クラスは、2022年12月の親子向け「クリスマスケーキ教室」より再開しました。また、コロナ禍に開始したオンラインクラスは、移動を伴わず自宅などお好きな場所から気軽に参加できるので、遠方在住で対面クラスへ参加できない方からも好評であったことから、現在も継続しています。

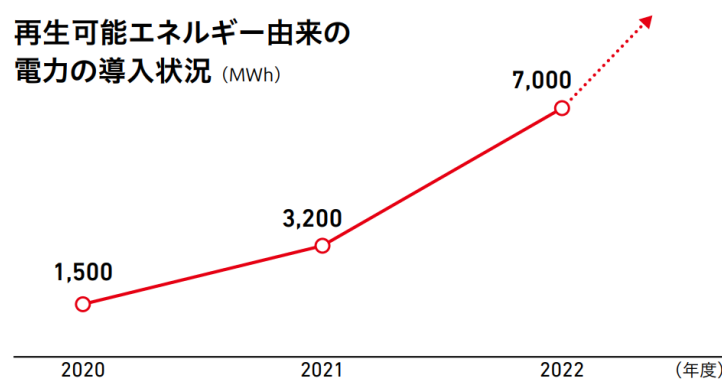
2022年度は対面・オンラインあわせて30回開催、のべ324名の方にご参加いただきました。

未来・次世代のための取組み（環境）

日清製粉グループは、カーボンニュートラルの実現に向けて「2050年に自社拠点におけるCO₂排出量実質ゼロ、2030年度までにCO₂排出量50%削減(2013年度比)」を環境課題中長期目標に掲げています。この目標に沿って、2030年度の中期目標達成に向けたロードマップを作成し、確実な削減に向けた取組みを開始しています。

グループの国内・海外14拠点で太陽光発電設備が稼働

再生可能エネルギー由来の電力の導入状況 (MWh)



「環境投資枠」を設定し、再生可能エネルギー由来の電力の導入として国内・海外の事業拠点に太陽光パネルを設置するほか、オンサイトPPAの活用を進め、国内外の14拠点で太陽光発電設備が稼働しています。

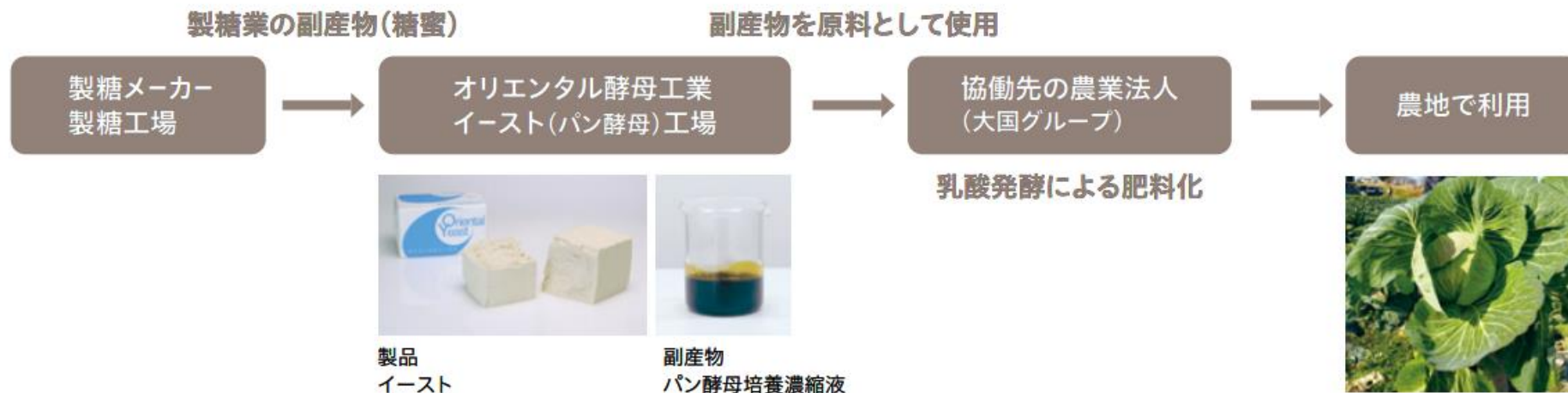
(2023年度3月末時点)

未来・次世代のための取組み（環境）

製造工程の副産物を作物の栽培に活用

オリエンタル酵母工業では、イーストの製造にサトウキビから砂糖を搾った残り(糖蜜)を活用しています。

さらに製造工程で発生する副産物(パン酵母培養濃縮液など)を、肥料原料として作物の栽培に活かす取組みを農業法人と協働で進めています。従来の化学肥料を用いた栽培方法に比べ、収率や作物の香りが良くなることなどが報告されています。化学肥料を使用しない環境再生型農業を推進するほか、食品残渣のリサイクルループの構築にもつながります。



未来・次世代のための取組み（製品開発）

日本初の高食物繊維小麦粉「アミュリア」を開発

日清製粉は、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」という企業理念のもと、2020年から研究・開発を開始し、2年以上の歳月をかけて日本で初めての高食物繊維小麦粉「アミュリア」を開発しました。

現代の日本人が不足しがちな栄養素である食物繊維を豊富に、おいしく摂ることができ、消費者の皆さんの健康的な暮らしをサポートする小麦粉です。



製品開発にあたっては、さまざまな食べ物で、毎日おいしく食べることが出来ることを第一に考え、パン・麺・菓子等のアイテムごとに、あらゆる配合・製法で試行錯誤しながら、開発を進めました。

本製品を通して、日本の豊かな食文化の発展にさらに貢献していきます。

未来・次世代のための取組み（製品開発）

様々な業態での人手不足を解決する 冷凍自販機専用品を開発

日清製粉グループの食品事業を担う日清製粉ウェルナは、急速に普及が進む冷凍自動販売機専用製品として、即食に適した専用トレイとフォーク付きの「冷凍自販機専用パスタ」5品目を開発し、2023年3月よりテスト販売を開始しました。



▲ 専用パッケージ



▲ 調理イメージ
(トレイ、フォーク付)

人手不足等により、事業所や工場などの食事提供に課題があると捉え、家庭用の冷凍パスタ事業の強みを活かし、美味しく、値ごろ感のある価格帯で、その場で喫食が可能な冷凍自販機専用製品を開発しました。

購入～調理～喫食～片付けまで購入者のセルフオペレーションで完結するため、さまざまな業態での人手不足の課題解決に貢献できます。

▲ 冷凍自販機での販売イメージ



END